

2011 年度(第 10 回)定時総会議案書への質問と回答一覧

該当項目	質問欄	
CAPスペシャリスト資格更新制度について	<p>1 CAPスペシャリストの活動費3,000円/年、更新研修費5,250円(3年に1回必修)、更新料2,000円(3年に1回)と、個人負担が増えることに疑問があります。</p> <p>CAPは3人で1ワーク単位で活動している為、個人負担が多くなることで継続不可になるメンバーが増えることが心配です。更新料未納や更新研修を受けられなかった場合は、どのようになるのでしょうか。スペシャリストの継続や増員の展望について教えて下さい。</p>	5月13日着 堺CAPプロジェクト
	<p>回 2008年度の臨時総会で承認された資格更新制度についてはさまざまな議論を経て、更新研修についてはできる限り活動されている地域で受講できるように利便性を図り、積極的に地域で開催をしていきます。資格更新のための必須研修の参加費に限らず、CAPスペシャリスト研修は、活動会員(年会費3,000円)にご入会いただくことで、どの研修についても5,250円で参加できるよう2010年度から取り組んでいます。2009年度までは7,350円(活動会員)がCAPスペシャリスト研修の受講費でした。財政難の折ですが、少しでもみなさんに研修を活用していただけるように努力していきたくと思っています。</p> <p>資格更新のための研修が受講できなかった場合には、猶予期間を設けるなどの措置を考えております。地域での活動が滞ることのないように現実的なシステムにしていきたくと思っています。</p> <p>また、CAPスペシャリストの増員については関西と関東では必ず年1回は養成講座を開催するように2010年度から取り組んでおり、地域での活動の活性化のために地域の声を取り入れながら、南部エリアのCAPトレーニングセンターとしての責任を果たしていきたくと思っています。</p>	
第1号議案 養成講座について	<p>2 参加者が少ないようですが、この部門における採算は大丈夫なんでしょうか？ また、地域に根ざした活動をする程、採算をとるのが困難と思われませんが、今後もそれを目指すのでしょうか？ また養成講座の従事者は延べ人数でしょうか。</p>	5月15日着 CAP西大和
	<p>回 CAPスペシャリスト養成講座・実践編の定員は20人です。2010年度は、開催の緊急度を考え少人数でも開催したことで受講者数の少ない地域もありました。地域に根ざした活動は子どもの人権が尊重され、子どもへの暴力のない社会をめざすうえで、重要であると考えております。今後も採算ベースを考えながら、事業実施について判断していきたくと思っています。なお、養成講座の従事者は、講師と当日の事務局、さらに事務所内での受付や印刷業務に携わる人数を含めており、延べ人数ではありません。</p>	

第1号議案 2、事業に関する事項 (1)のCAPスペシャリスト養成講座(実践編)	3	2011.2/12-14の熊本で実施したCAPスペシャリスト養成講座実践編において、従事者が7人で、受益対象者が9人である。赤字事業であったと推測されるが、参加人数が少ない養成講座に関して、今後どのように考えていますか？	5月16日着
	回答	従事者数は、講師と当日の事務局、さらに事務所内での受付や印刷業務に携わる人数を含めており、延べ人数ではありません。開催ラインの目安は、CAPスペシャリスト養成講座・実践編においては15人と定めています。熊本での開催については地域の活動において重要であるとの判断からサポートグループに経費削減に努めていただき、実施しました。今後、参加者が少ない場合については、その地域における開催の緊急度などを検討し、判断してまいります。	
第1号議案 2、事業収入 個人・団体との連携事業	4	個人・団体との連携事業の予算は、160,000円だが、決算額は、527,610円となっている。決算額が大幅に増えた理由を教えてください。既に、GETS事業を組み入れているのでしょうか？	5月16日着
	回答	2010年度に他団体との連携事業が期内に増えたために決算額が増えています。2010年度については、まだGETS事業を組み入れてはいません。	
第1号議案 4、その他の収入 その他の収入	5	決算額が1,000,000円になっているが、内訳を教えてください。	5月16日着
	回答	第34回井植文化賞社会福祉部門の受賞の賞金がこれにあたります。	
第1号議案 当期収支差額	6	当期収支差額が 1,163,454円で、来期への繰越金を約半分に減らしてるが、経営上大丈夫なのでしょうか？	5月16日着
	回答	経営上のご不安を抱かれるのは当然のことかと思えます。トレーニング体制の安定や事業の新たな取り組みはまだ緒に付いたばかりで、経費については極力抑えながら行っております。今後、広報に努めながらさらに経営努力をしてまいります。ご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。	
第2号議案 CAPプログラムを提供する各種人材の養成講座	7	CAP 就学前プログラム講座の実施の文章の中に、「 中学生暴力防止プログラムのトレーナーを検討し始めた」とありますが、予定としてはいつ頃養成講座は実施可能でしょうか？ ベーシック・プレ・中学生とも、J-CAPTAと連携して、どちらのエリアでも受講可能となるよう検討願います。	5月16日着

と研修学習事業	回 答	<p>議案にありますように、中学生暴力防止プログラムは中学生暴力防止プログラムトレーナー（ティーントレーナー）の実践者有資格者養成講座の実施を検討し始めたところです。従いまして、養成講座の予定や実施可能かどうかについてお伝えする段階ではありません。</p> <p>ベーシック・プレ・中学生とも南部エリアのCAPトレーニングセンターとしてみなさんに講座を提供していける体制を整え、地域での活動の安定を図りたいと思っています。体制を整えるには時間が必要ですが、ご理解のほどよろしく願いいたします。</p>	
第3号議案 2012年度会費の額の変更について	8 回 答	<p>2010年現在、個人正会員はいないようだが、今後個人正会員を募るといことでしょうか？従来の活動会員と2012年以降の個人正会員との違いを教えてください。</p> <p>定款第6条にありますように、当法人においてはこれまでも正会員は団体に限ってはおりません。安定した財政基盤を持つためには、正会員として法人の目的に賛同し活動を推進する個人および団体を幅広く募ることが重要であると考え、2012年度からこれまで団体と同額であった個人正会員の会費の額を10,000円とすることをお願いしております。この個人はCAPスペシャリストに限定するものではありません。</p> <p>なお、ご質問の活動会員につきましては、当法人の目的に賛同しCAP 活動をするCAP スペシャリストであり、正会員のように総会における議決権は持たない個人をさしています。</p>	5月16日着
第2号議案 出張研修トークタイムについて	9 回 答	<p>私たち「せんだいCAP」はCAPセンター主催の研修に参加したくても遠方で参加できない状況です。この資格更新のための必須研修は参加者の利便性を高めるとあります。今年度九州開催が予定されていないので来年度（2012年度）は計画してほしい。</p> <p>2011年度の出張研修トークタイムについては、メールマガジンRTC通信Vol.6（12月7日発信）で開催地希望をリサーチ（1月21日締め切り）し、開催を決定しております。開催にあたっては12人以上の参加などの条件がありますが、2012年度につきましては秋以降リサーチをいたしますのでぜひとも開催希望に手をお挙げください。なお、今年度も7月17日に宮崎県宮崎市で出張研修トークタイムが実施されることが急遽決定しましたので、ぜひご参加ください。</p>	5月16日着 せんだいCAP